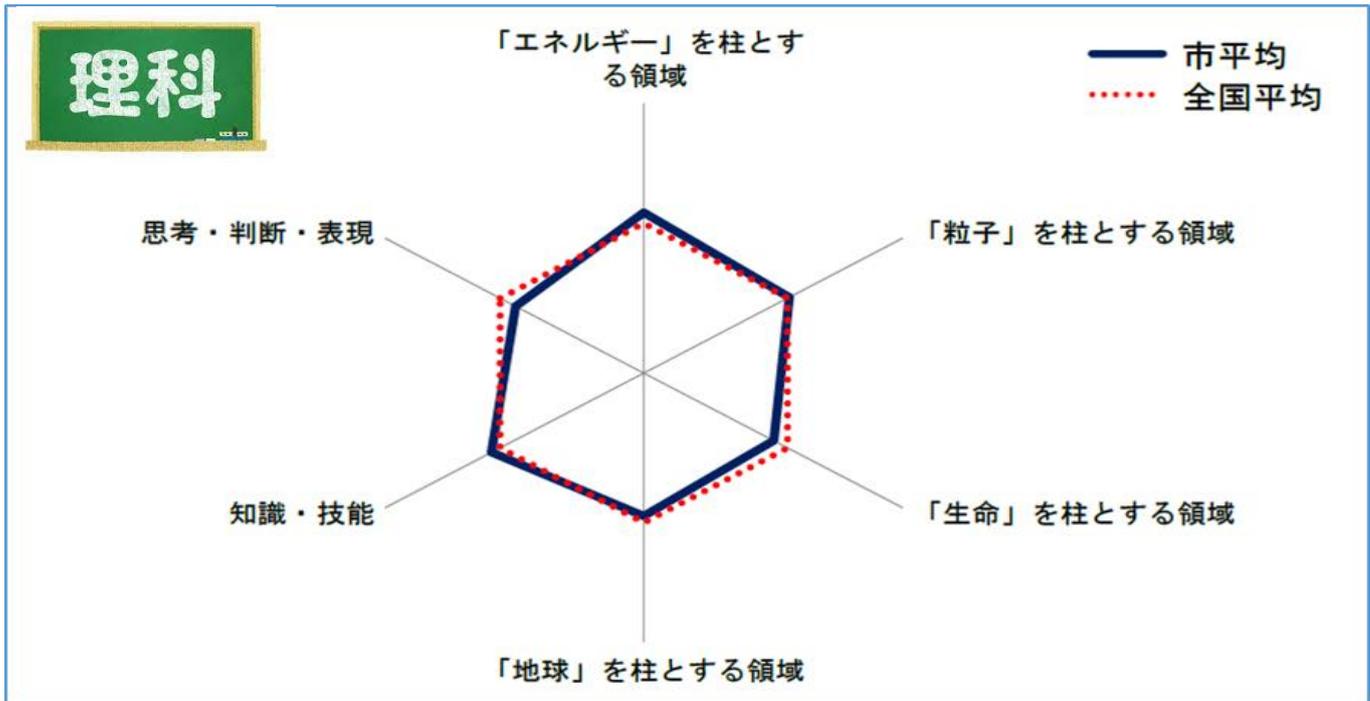




新居浜の小学生は、全体として「全国平均と同等程度」の調査結果でした。



「エネルギー」「粒子」領域の正答率が全国や県と比べて高い結果となりました。

観点別にみると、「知識・技能」は全国や県と比べて高い結果となりました。

「電磁石について、電流がつくる磁力を強めるため、「コイルの巻数の変え方を記述する」問題の正答率が、全国や県と比べ高い結果となりました。

「身の回りの金属について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選択する」問題の正答率が低かったです。授業だけでなく日々の暮らしの中でも、科学的事象に興味を持てるような声掛け、意識付けなどを継続することが必要です。

「発芽の実験結果から、新たな問題を見だし、言葉で表現する」問題の正答率が低かったです。実験の目的や、結果から言えること、言えないことを常に意識するとともに、それを記述、発言する機会を増やしていきます。

よくできていた理科問題

結果を受けてこれから取り組んでいきたいこと

